



## 第3回 4月15日の授業内容

### □ § 1.5 統計資料と利用上の注意

- 雇用・失業
- 家計・消費
- 物価(指数)
- 景気判断

4/15/09

1



## § 1.5 統計資料と利用上の注意

ここでは、新聞紙上などで目にする事の多い統計について、その概要と利用上の注意を概説する。

4/15/09

2



## 統計資料の利用上の注意

- 「統計資料上の用語」と「日常用語」が同一とは限らない
  - 報告書には用語集がついているので、概念を確認
- 概念が類似していても、違いが生じることもある
  - 標本(集団)による違い
  - 質問方法による違い 調査票で確認

4/15/09

3



## 雇用・失業 (by労働力調査)

- 「完全失業率」 by 労働力調査(総務省統計局)
  - 毎月末日現在で就労の有無を調査したもの
  - 標本調査(約4万世帯、約10万人対象)
  - 調査を行う1週間に、収入を目的とした仕事を1時間以上したかどうか、が従業の基準。職業は不問。
  - 2年間にわたり、同一の2ヶ月を調査。  
(「基礎調査票」計4ヶ月分)  
2年目の2ヶ月目に「特定調査票」調査を行う。
  - (参考) 基礎調査票 & 特定調査票

4/15/09

4



## 雇用・失業 (by労働力調査<sup>続き</sup>)

### □用語の定義

- 就業者(働いている人) = 従業者 + 休業者
- 完全失業者: 就業者以外で、就業可能でかつ求職活動を行っていた者
- 完全失業率 = 完全失業者数 ÷ 労働力人口  
(15歳以上の子供・学生以外)

(参考)用語定義集

4/15/09

5



## 雇用・失業 (by職安統計)

- 「有効求人倍率」 by 職業安定業務統計
  - 公共職業安定所(俗称ハロー・ワーク)で扱われた求人・求職のデータから算出
  - 新規求人数, 新規求職者数:  
当該月に受けつけた求人(求職者)数
  - 有効求人数, 有効求職者:  
前月から繰り越した求人(求職者)数 + 新規求人(求職者)数
  - 有効求人倍率 = 有効求人数 ÷ 有効求職者数
  - 新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職者数

4/15/09

6



## 家計・消費 (家計調査)

- 家計調査(総務省統計局)
  - 世帯の収入と支出を調査(月単位)
  - 調査対象:
 

二人以上の世帯	8,076
単身世帯	673(他に72)
  - 6ヶ月(単身世帯は3ヶ月)間継続して「家計簿」をつける
  - 「年間収入調査票」により過去1年間の収入も調査
  - 二人以上の世帯については、「貯蓄等調査票」により、貯蓄・負債の保有状況及び住宅などの土地建物の購入計画についても調査
  - 調査世帯は毎月1/6(単身世帯は1/3)ずつ交替
  - 学生の単身世帯、外国人世帯等は除く
  - 勤労者世帯以外は収入情報は公表されない

寮、寄宿舎

4/15/09

8



## 家計・消費 (全国消費実態調査)

- 全国消費実態調査(総務省統計局)
  - 家計調査を補完、5年おきに実施
  - 調査対象:
 

二人以上の世帯	約5.5万世帯
単身世帯	約0.5万世帯
  - 調査期間:
 

9月～11月の3ヶ月
(単身は10、11月の2ヶ月)
  - 家計簿だけでなく、個人収支(こづかい)、年収・貯蓄・借入金、耐久財等についても調査

4/15/09

9



## 家計・消費 (消費動向調査)

- 消費動向調査(内閣府経済社会総合研究所)
  - 景気動向判断のために、
    - 暮らし向きに関する消費者の意識
    - 旅行等の各種サービスへの支出予定
    - 耐久消費財等の保有状況
 などを調査
  - 調査対象:
 

6,720世帯(一般世帯、単身世帯)
外国人・学生・施設入居世帯を除く
  - 調査期間:
 

毎月1回(15日)、年12回
----------------
  - 「今後の暮らし向き」や「物価」の見通しなど、消費マインドを指数化

4/15/09

10



## 物価(物価指数)

- 消費者物価指数(総務省統計局)
- 企業物価指数(旧卸売物価指数)(日本銀行)
- 物価指数 ... 単なる価格ではない  
効用を同じくする消費支出の比

4/15/09

11



## 物価指数(続き)

- ラスパイレス指数
  - 基準時点の消費数量をベースに計算
$$L_t = \frac{\sum_i p_{it} q_{0i}}{\sum_i p_{0i} q_{0i}}$$
- パーシェ指数
  - 現時点の消費数量をベースに計算
$$I_t = \frac{\sum_i p_{it} q_{it}}{\sum_i p_{0i} q_{it}}$$

4/15/09

12



## 景気判断

- ディフュージョン・インデックス(DI)
  - 景気変動を反映すると考えられているn系列の時系列データのうち、拡張方向に動いている系列の数n+の割合: n+ / n
- 判断DI(日銀短観:「企業短期経済観測」)
  - 業況について「良い」、「悪い」、「変わらない」の3つから回答
  - 判断DI  
=(「良い」の回答数 - 「悪い」回答数) / 全回答数

4/15/09

13